

「認知症と共に生きる」～治療と仕事の両立支援～

認知症は高齢者にかぎった病気ではなく、65歳未満の働き盛りの年代でもみられます。物忘れや仕事が思うように進まないなどの症状も、更年期障害や単なる仕事の疲れではないこともあり、職場の方が最初に変化に気づくことも多く、職場内での正しい知識と支援が必要です。認知症と共に歩んできた丹野さんの体験や思いを聴き、認知症のことや診断を受けても働き続けることについて一緒に考えてみませんか？

★プログラム★

10:00～ 開会挨拶

10:10～ 講演

「当事者が語る認知症とは」

講師：丹野智文 氏

(一般社団法人認知症当事者ネットワークみやぎ)



10:40～ パネルディスカッション

「認知症と共に生きる」～治療と仕事の両立支援～

丹野智文 氏

岡村香 氏『助け合い～あなたと笑顔の暮らし』

(社会福祉法人ふるさと自然村)

浜田久美子 氏『雇用の継続・就職等について』

(独立行政法人労働者健康安全機構高知産業保健総合支援センター両立支援促進員・社会保険労務士)

11:40～ 質疑応答・意見交換

11:45 閉会

日時：令和3年11月14日(日)

10:00～11:45

(9:30開場)

場所：高知商工会館

(高知市本町1丁目6-24)

定員：80名

対象：企業等の人事・労務担当者、産業保健師、医療・介護・福祉事業者、居宅介護支援事業者、等



【丹野智文氏 プロフィール】

1974年宮城県生まれ。自動車販売会社のトップセールスマンとして活躍していた。39歳で若年性認知症の診断を受ける。認知症の人が、不安を持つ当事者の相談を受ける「おれんじドア」を仙台市内で毎月開催している。著書「丹野智文 笑顔で生きる～認知症とともに～」

申込方法

裏面の申込書に必要事項を記入のうえ、

11月2日(火)までにFAXにてお申し込みください。

○共催／高知県健康政策部在宅療養推進課、高知市高齢者支援課

○後援／公益社団法人認知症の人と家族の会高知県支部、高知県若年性認知症の人と家族と支援者の会、独立行政法人労働者健康安全機構高知産業保健総合支援センター、高知県地域両立支援推進チーム

令和3年度企業向け高知県若年性認知症フォーラム 参加申込書

- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大の状況によって開催中止もしくは、リモート研修で開催する場合があります。
中止の場合の連絡のため、**連絡先は必ずご記入ください。**
- ◆ 申込多数の場合は、人数制限をさせていただく場合がありますのでご了承ください。

申込締切：令和3年11月2日（火）

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

申込先：高知県在宅療養推進課
連携推進担当 三宮・松岡 宛

FAX番号：088-823-9137

市町村	所属/企業名	氏名	電話番号/メールアドレス

【質問】 ※講師等への事前質問がありましたら、ご記入ください。

※新型コロナウイルス感染対策のため、マスク着用でのご参加をお願いいたします。

※できる限り公共交通機関でお越しください。

※記載された個人情報は、本事業の連絡にのみ使用します。

【問合せ先】

〒780-8520 高知市丸ノ内1丁目2番20号

高知県在宅療養推進課

連携推進担当 三宮、松岡

TEL 088-823-9848

FAX 088-823-9137

MAIL 131401@ken.pref.kochi.lg.jp